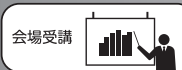


製造現場・事務所でも、
職場全体で取り組むことで成果が驚くほど上がります！



どんな職場でもすぐに役立つ

ヒューマンエラー防止策

とき 2026年 3月 10日 (火) (1日コース 10:00~17:00)

ところ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13) または、オンライン(Zoom配信)

ご参加
いただきたい方

- 工場長 製造部門の管理監督者
- 品質管理部門の管理監督者、担当者
- 事務部門の方を含む各部門のリーダー
- 改善に取り組む担当者
- ヒューマンエラーについて知識と実践方法を検討したい方

※1社から2名(管理者・監督者等)のご参加がより効果が高まります。

本研修のねらい

限られた大切な勤務時間にヒューマンエラーを起こすことは、仕事を新たにやり直す時間だけではなく、その人件費やムダになった消費財など多くの無駄が発生してしまいます。本セミナーでは主に個人での取り組み方を中心に様々な視点から対策を学びます。どんな職場(製造現場・事務所)でもすぐに行えるヒューマンエラー防止策を講義だけではなく講師の体験談と演習を多く取り入れながら理解を深めます。また、自社のヒューマンエラー対策を検討する機会となりますので、1社から複数名(管理者と監督者等)のご参加いただくことで研修効果がより高まります。

研修プログラム

1.そもそもヒューマンエラーとは何か?

- (1)一般的な定義と種類
- (2)ヒューマンエラーを疑似体験してみよう
- (3)重大な失敗は、何段ものチェックをすり抜けて起こる
(アクシデントとスイスのスライスチーズモデルとの関係)

2.ヒューマンエラー対策のポイントとなる考え方

- (1)「ハインリッヒの法則」を実践で活用する
- (2)「KY(危険)訓練」はどんな業種・職場でも効果的
- (3)「SHEL(シェル)モデル」がヒューマンエラー防止策の肝となる
 - ①作業員本人
 - ②作業指示の内容
 - ③作業に使われる道具、機器、設備
 - ④作業環境
 - ⑤指示する上司など人的要因
 - ⑥マネジメント
- (4)事務所でのヒューマンエラー予防策を考える

3.すぐにできるヒューマンエラー防止策

- (1)製造現場や事務所で効果が上がる指差呼称ゆびさしこしょうのあり方
3つの判定方法の紹介→○○ヨシ! ○○アウト! ○○オッケイ!
- (2)ア～対策
→毎朝の朝礼時におすすめの取組み紹介
ヒューマンエラーの発生度が高まる要注意日がわかる
- (3)3種類のダブルチェック
→①手順を変える ②手段を変える ③人を変える
(※電卓を使用して説明します。電卓の持参をお願いします。)

4.各視点からのヒューマンエラー防止策を考える

- (1)個人が起こすヒューマンエラー
- (2)チームが起こすヒューマンエラー
- (3)防止策として取り組むべきことは何か

5.演習

- (1)マニュアルの上手な活用でヒューマンエラー防止や収益向上ができることを体感する演習
- (2)指示や説明等の伝えることでの「勘違い」や「所要時間のバラツキ」を体感する演習
- (3)マニュアルの必要性を改めて体感する演習

どんな職場でもすぐに役立つヒューマンエラー防止策

製造現場・事務所でヒューマンエラーほど無駄で残念な失敗はありません。

このようなヒューマンエラーの事象が製造現場や事務部門で発生していませんか？

- 注意しても取り違い、思い違い、考え違いがなかなか減らない。
- 現場の作業者が作業内容(作業計画)を理解しないでやっている。
- 指示者が作業(現場・事務所)の知識や技能レベルを理解しないまま指示している。
- 職場で働いている社員の業務の失念が増えているため何か対策をしたい。
- これまで取り組んだヒューマンエラー対策がうまくいかない。

- ① ヒューマンエラーとは何か
- ② 製造現場・事務所で起こるヒューマンエラー対策のポイント
- ③ すぐにできるヒューマンエラー防止策



植條 英典(うえじょう ひでのり) (株)実践マネジメント研究所 代表

1958年岡山県生まれ、奈良県在住。大学で生産管理を学び、中堅家具製造卸会社の経営企画室勤務を経て1985年に中村技術士事務所に入所。以来、製造業を中心とした現場の改善と管理者の育成を手掛ける。2004年、実践マネジメント研究所を設立。これまで全国各地で大手メーカーから中小企業まで約340社を指導。その経験を活かして工場経営コンサルタントとして活躍している。豊富な具体例をもとにした分かりやすい解説と情熱あふれる指導に定評がある。モットーは「改善に終わりなし」

どんな職場でもすぐに役立つヒューマンエラー防止策(3/10)参加要項/参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

参加費(1名様)	[中産連会員] 36,300円(消費税込) [中産連会員外] 41,800円(消費税込)
申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●ファックスでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 <p>※オンライン受講の場合は参加者のメールアドレスが必要です。必ず参加者のメールアドレスをご記入ください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。</p>
受講までの流れ	<p><会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2~3週間前に申込責任者宛へ郵送します。</p> <p><オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。</p> <p>【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外のご利用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。</p>
キャンセルについて	<p>お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場受講の場合：開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合：テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・受講料の100% <p>※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。</p>
申込み・問合せ先	<p>一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail: seminar@chusanren.or.jp</p>

年 月 日

会社名 _____
〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

※オンライン受講を希望される場合は○を付けてください。

オンライン受講	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	<p>今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 <input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない</p>
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員 ・ 会員外		